

1. 基本精神・学校教育目標

私たちは、『地域の期待に応え、地域から信頼される学園』として、新しい時代に、『志と誇りを持って、いきいきと生きる人間』を育成します。

2. 学校像

人間力・特性を伸ばす

◇挨拶日本一
◇自律・自立・貢献

3. 運営理念

輝く 生涯にわたって生きて働く力をつける
 人格の陶冶 高い志と誇り 自立・自己成長・社会貢献

↑
 極める 探究し 特性を発揮する
 学力の伸長 豊かな情操と強固な意志 健やかな身体・運動能力

↑
 徹する 集中し 磨く
 知・徳・体のバランスのとれた教育 基礎基本の徹底 自律・礼節

4. 運営目標・評価項目・達成状況

評価基準: 目標に対する達成率で次のように評価する。
 5:100%以上 4:90%以上 3:80%以上 2:70%以上 1:70%未満

運営目標	短期運営目標	本年度行動計画	評価指標	前年度	本年度		評価	運営目標の達成状況
				実績値	目標値	実績値		
学力の向上	・学力の向上 ・意志を大切に した進路指導の 充実 ・授業力の向上	・普通科では、最難関、難関、総合進学、スポーツ芸術の各コースが特性を伸ばし充実を図る。また、生徒の進路希望表現に向けて、学年・担任はもとより、各教科・各分掌・クラブ顧問などが連携し、全学的な取り組みを一層充実させる。加えて、国公立大学及び難関私立大学の合格者数を進学指導部を中心に展開させ増加させる。 ・工業科では授業の質を高め基礎・基本を定着させ、かつ資格取得のための技能習熟度を向上させる実習や補習に取り組んで即戦力として通用する“人財”を育成し、26年連続就職希望者内定率100%を実現する。 ・進路指導(進学・就職)における目的と手段の最適化を目指す協働態勢を構築する。	・合格者数(過年度含) ・就職内定率	45名 (46)	48名 (50)	48名 (50)	5	新型コロナウイルス感染症防止対策からグループ・ベアワークを制限せざるを得ず「主体的で対話的な深い学び」を実践しにくい場面があったが、習熟度別、科目別少人数制の授業に加え、難関大学向けの指導の充実を図った。授業を中心とした指導を徹底し、今年度は、早朝、放課後補習にも時間を充足することで学力向上を図り、国公立大学に22名、難関私立大学に28名の合格者を輩出した。国公立大学は、筑波大学、九州大学、広島大学、岡山大学、山口大学などに、また、私立大学合格者数は173名となった。本校教育活動に関するアンケート調査(以降、アンケート調査)で、「授業に興味をひき、理解しやすいように工夫している先生が多い」の項目では76%、「学力がつくよう熱心に指導してくれる先生が多い」の項目では82%の生徒が肯定的に評価しており、学力向上に向けた取組みに高い評価を得ることができた。工業科では、ものづくりの技能習得に例年通り取組んだ。また、資格取得に向けて授業、補習に取組み、ジュニアマイスター取得率は回復傾向にある。26年連続で就職希望者内定率100%を達成した。
			進路指導に関するアンケート	満足度 87%	満足度 88%	満足度 85%	4	三者懇談を2回以上、二者懇談も必要に応じて複数回実施した。進路希望調査の定期的な実施を通して、早い段階から進路目標を決定して面接・小論文指導などにも取り組み、就職試験や学校推薦型選抜、一般選抜において成果を上げることができた。また進路指導(進学・就職)方法の点検と確認、修正や改善を進め、アンケート調査では「将来の進路に向けた指導・支援が十分に行われている」の項目で85%の生徒から肯定的な回答を得た。
			教科指導に関するアンケート	満足度 85%	満足度 87%	満足度 85%	4	各教科における「深い学び」をテーマに研究授業を実施し、各コース、科ごとの「生徒につけたい力」とのつながりを確認するとともに、科内協議で今後の課題を明確にした。生徒・教員の意識変化や行動変容を検証するアンケート調査を実施し、学びの工夫・手立てに関する評価(教員による自己評価・生徒による自己評価)を相互に行い、結果を比較分析し、授業改善を行うことで「生徒につけたい力」を育成する。アンケート調査では、「学習の評価は適切に行われている」の項目で85%の生徒が肯定的に評価している。
豊かな心の育成	・かかわりきる 生徒指導の 推進 ・クラブ活動の 促進 ・特色ある教育 内容の 展開	・「挨拶日本一」を追究し、礼節や規律を重んじ、対話の重要性を理解する態度を養う。教員自らの言葉遣いや振舞いなどの一層の成熟を目指す協働態勢を構築する。“教員がもつべき力”を研修等を通して策定する。「生徒一人一人を大切に」「組織的に」「オープンに」を掲げ、挨拶・身だしなみ強化月間を年3回実施し、よりよい校風の樹立に全教職員が一体となって努める。	生徒指導に関するアンケート	満足度 84%	満足度 89%	満足度 82%	4	新型コロナウイルス感染症の影響を受け外部研修の多くが中止となったが、校内では一人一人の生徒に担任が中心となって親身に寄り添い、粘り強く指導を継続した。アンケート調査では担任の教育相談に82%の生徒が満足しているとともに、生徒指導についても77%の生徒が肯定的に捉えている。引き続き生徒・保護者の意見を吸い上げるとともに、今後は統一した指導体制のもと、きめ細やかな指導を粘り強く継続していくことが大切である。
			クラブ加入率	88%	92%	90%	4	文武両道を志向する生徒が大半であり、クラブ加入率は90%であった。アンケート調査では81%の生徒が「クラブ活動が活発で、先生方の熱心な指導に満足している」。生徒がクラスに位置付き、目的を持って学校生活を送れるよう、担任とクラブ顧問とが緊密に連携できる体制作りを行った。クラブ運営や指導に関して、健全で安心安全な活動を保障できるよう、特に新型コロナウイルス感染症防止対策について教員間で情報交換を密に行った。
			学校行事等に関するアンケート 作文	79%	87%	79%	4	アンケート調査では、「7つの習慣」をはじめ私学ならではの「特色ある教育をしっかり受ける機会がある」の項目では79%が、「海外校との国際交流が活発でグローバル教育が充実している」の項目では39%が、「文化祭などの学校行事が活発」の項目では69%が肯定的に捉えているという結果が得られた。今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため学校行事の多くが延期・中止になるとともに、グローバル教育についての関わり合いや発信が少なく、学校行事や国際理解など「よく分からない」との回答が多かった。2学年の修学旅行や1学年最難関コースのスプリングスクールは今年度も延期となった。
学校体制の充実	・信頼される 学校づくり ・生徒募集の 強化 ・学校組織の 機能化及び 人材の育成	・「前黄」学級通信」を継続発行して保護者と連携を図る。「フォーサイト」を積極的に活用して個々の目標にしっかりと取り組むことで、クラス目標、学年目標、学校目標を達成する。 ・教育活動に関するアンケート調査などの課題に対して丁寧に対応し学校の改善につなげ、信頼される学校づくりにつなげていく。	教育全般に関するアンケート	満足度 80%	満足度 82%	満足度 74%	4	新型コロナウイルス感染症防止対策により様々な活動が制約を受け、十分な教育活動を実践することが困難な状況であるが、昨年度に比べれば対策を取りながらも活動を進めることが可能となっており、生徒も順応しつつある。生徒に育成すべき力と教科教育に求められる具体的な指導法について考え、現在の環境下で実践可能な手法とICT機器、教材の導入を進めている。アンケート調査について、今年は生徒・保護者からの要望もあり、デジタルデバイスを利用し匿名で実施した回答率が大きく下がった。回答率の回復策が今後の大きな課題となった。
			入学者数	284名	250名	232名	4	新型コロナウイルス感染症防止対策を施しながら、オープンスクールを初めキッズイングリッシュ、キッズプログラミングなど広報募集活動を実施した。公開講座や地区別説明会など数ある広報募集活動を精査し、より効果のある活動を行った。また、広報・募集部を中心に小・中学校訪問を、全職員で塾対応を行った。入学生徒は内部進学を含め232名となり、目標を達成することはできなかった。工業科入学生の減少傾向に歯止めがかからない状況が続いている。分析・調査を踏まえて募集戦略の検討を行い、尾三地区はもとより福山地区への効果的な手段の構築に努める。
			実施状況	教員研修 15回	教員研修 20回	教員研修 28回	5	教頭・事務室を中心に諸会計の明瞭化を促進し、会計に対する説明責任に係る意識の定着を図っている。また、アンケート調査の「学校に通うことが楽しい」の項目での今年度卒業生の全体満足度は74%で、前年度の61%から大きく回復している。新型コロナウイルス感染症防止対策のため学校行事・クラブ活動が制約を受ける状況が続いているが、昨年度に比べ、感染症防止対策を施した上で徐々に実施可能な行事を増やし、生徒はこの様な状況の中でも学習活動に意義を見出し、前向きに取組む姿勢に転換を図ろうとしている。校外の研修はコロナ禍の影響から対面での実施は制約を受けているが、リモートでの実施により校内から参加可能な状況に変化している。理事長による教職員面談研修を実施し、運営課題の抽出と協創体制構築に向けた検討に着手した。

注)「本校教育活動に関するアンケート」の調査方法を紙面によるアンケートからインターネット(classi)を利用したアンケートに変更した結果、有効回答率が89.4%から22.5%に低下した。有効回答率の向上を図るため、今後、アンケートには回答することを習慣付けていきたい。

2月に実施しました本校教育活動に関するアンケート結果についてご報告します。

アンケート回答数（生徒） 高等学校 163名 中学校 28名

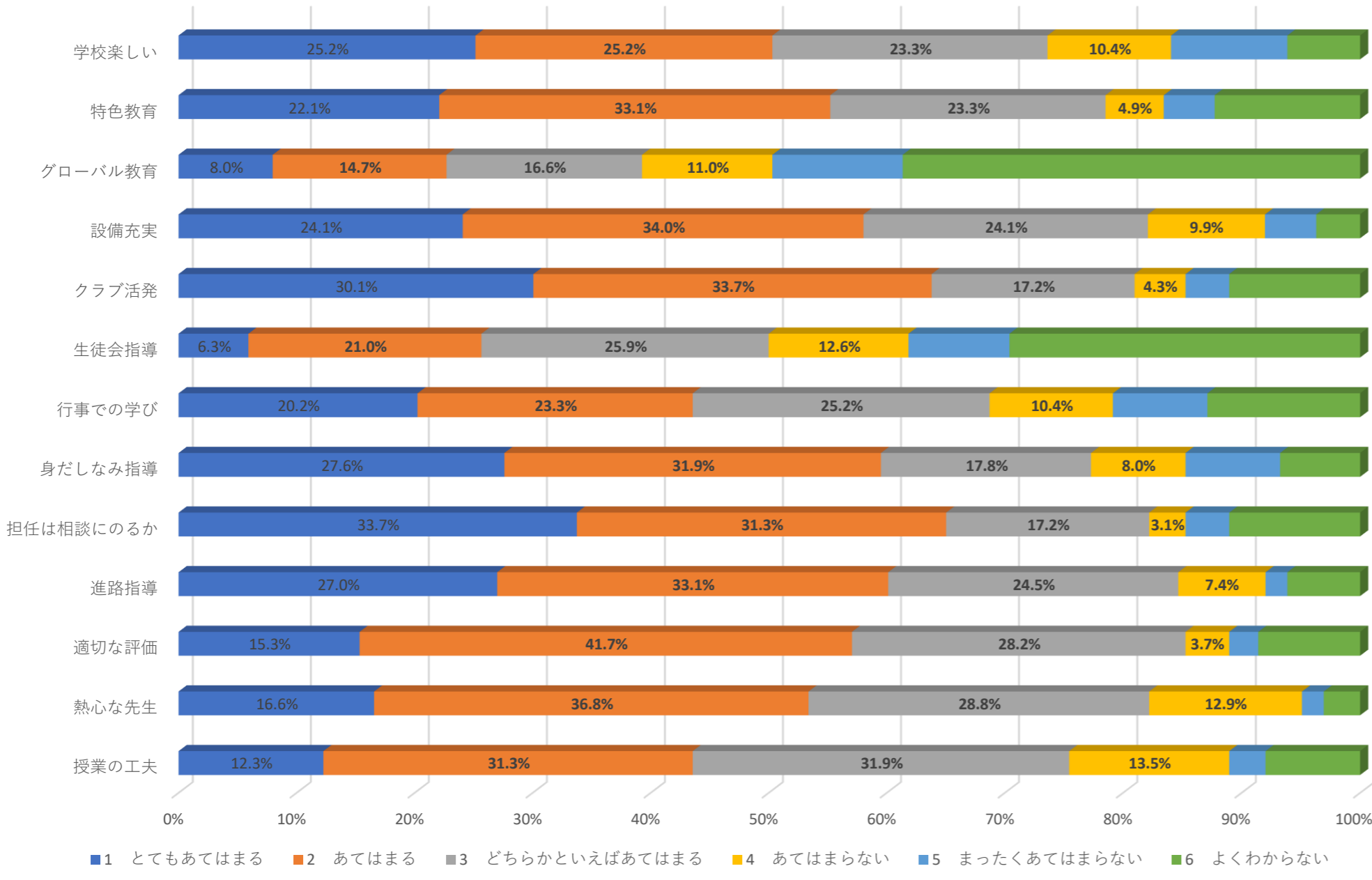
アンケート回答数（保護者） 高等学校 343名 中学校 63名

本校教育活動に関するアンケート 項目

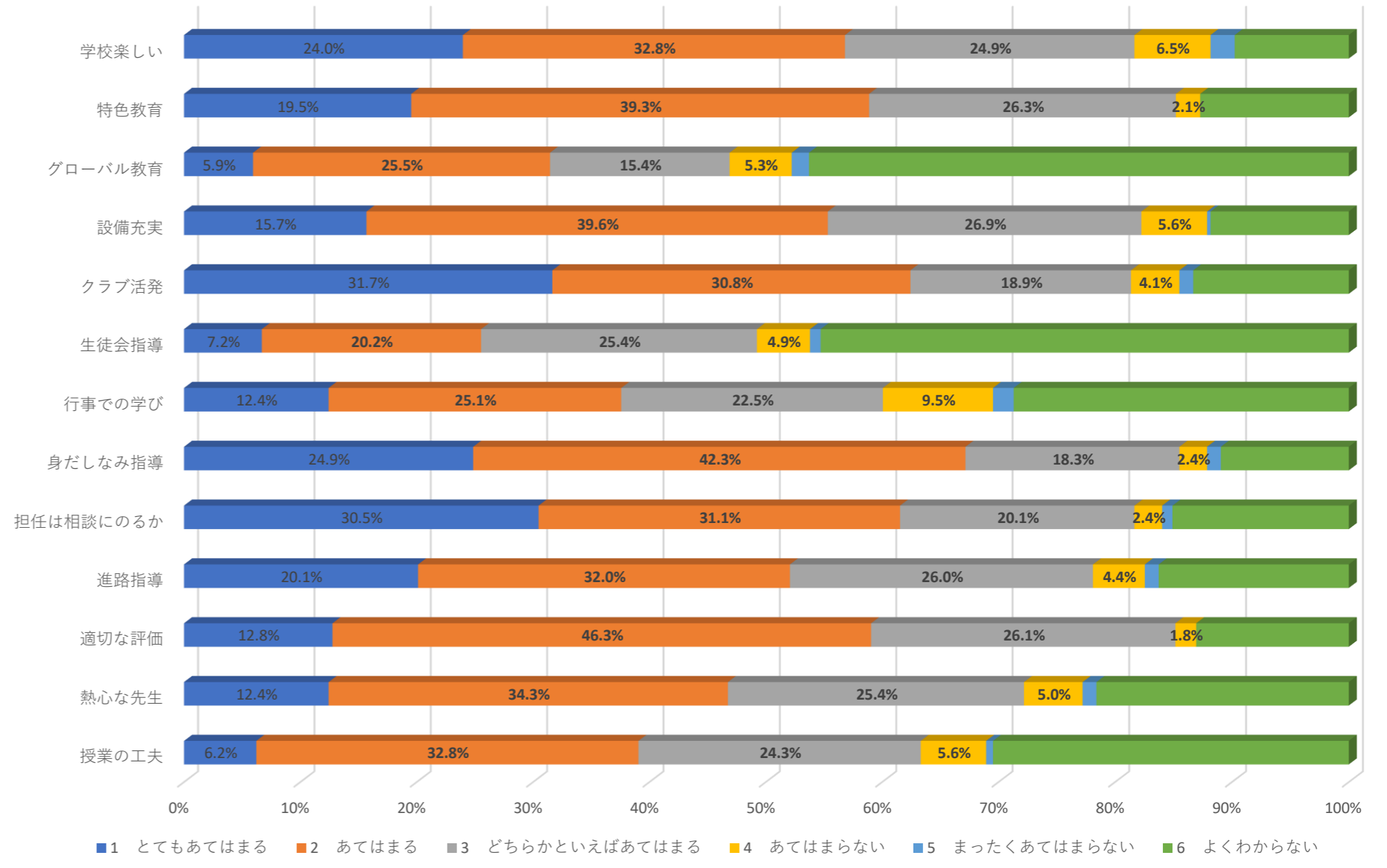
- Q 1 授業で興味をひき、理解しやすいように工夫している先生が多い。
- Q 2 学力がつくよう熱心に指導してくれる先生が多い。
- Q 3 学習の評価は適切に行われている。
- Q 4 将来の進路(進学・就職・文理選択など)に向けた指導・支援が十分に行われている。
- Q 5 担任の先生は、悩みや相談に親身になって応じてくれる。
- Q 6 挨拶や身だしなみなど学校生活における担任の先生の指導は納得できる。
- Q 7 文化祭や体育祭などの学校行事が活発で、協力し合う大切さなど学ぶことが多い。
- Q 8 生徒会活動が活発で、生徒と共に熱心に取り組み指導してくれる先生が多い。
- Q 9 クラブ活動が活発で、先生方の熱心な指導に満足している。
- Q10 教室をはじめ学校の施設設備は、授業や生活がしやすいように整備されている。
- Q11 海外校との国際交流が活発でグローバル教育が充実している。
- Q12 7つの習慣Jをはじめ私学ならではの特色ある教育をしっかりと受ける機会がある。
- Q13 学校に通うことが楽しい(生徒は学校へ行くのを楽しみにしている)。

高等学校

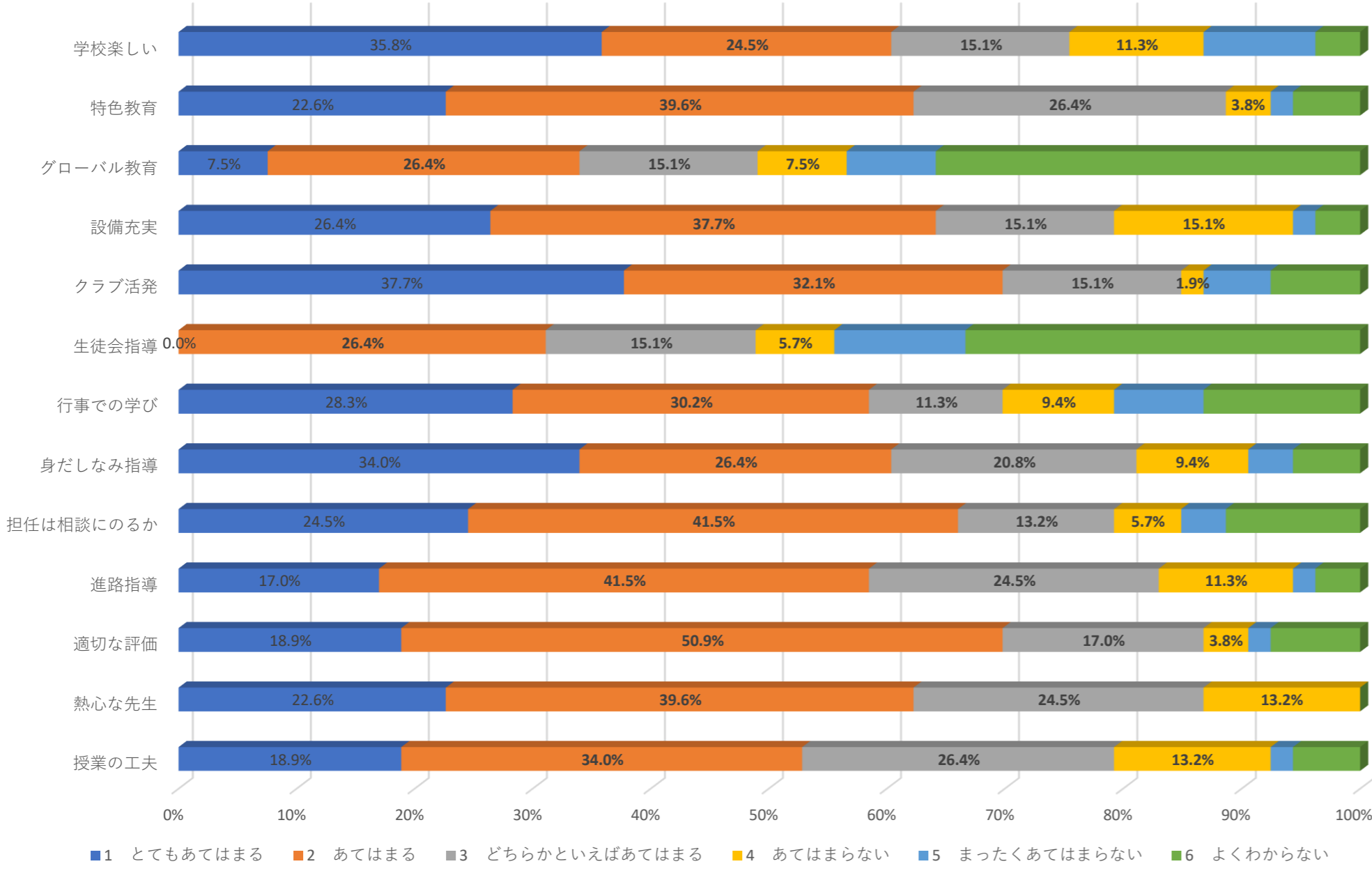
教育活動に関するアンケート 高等学校 生徒



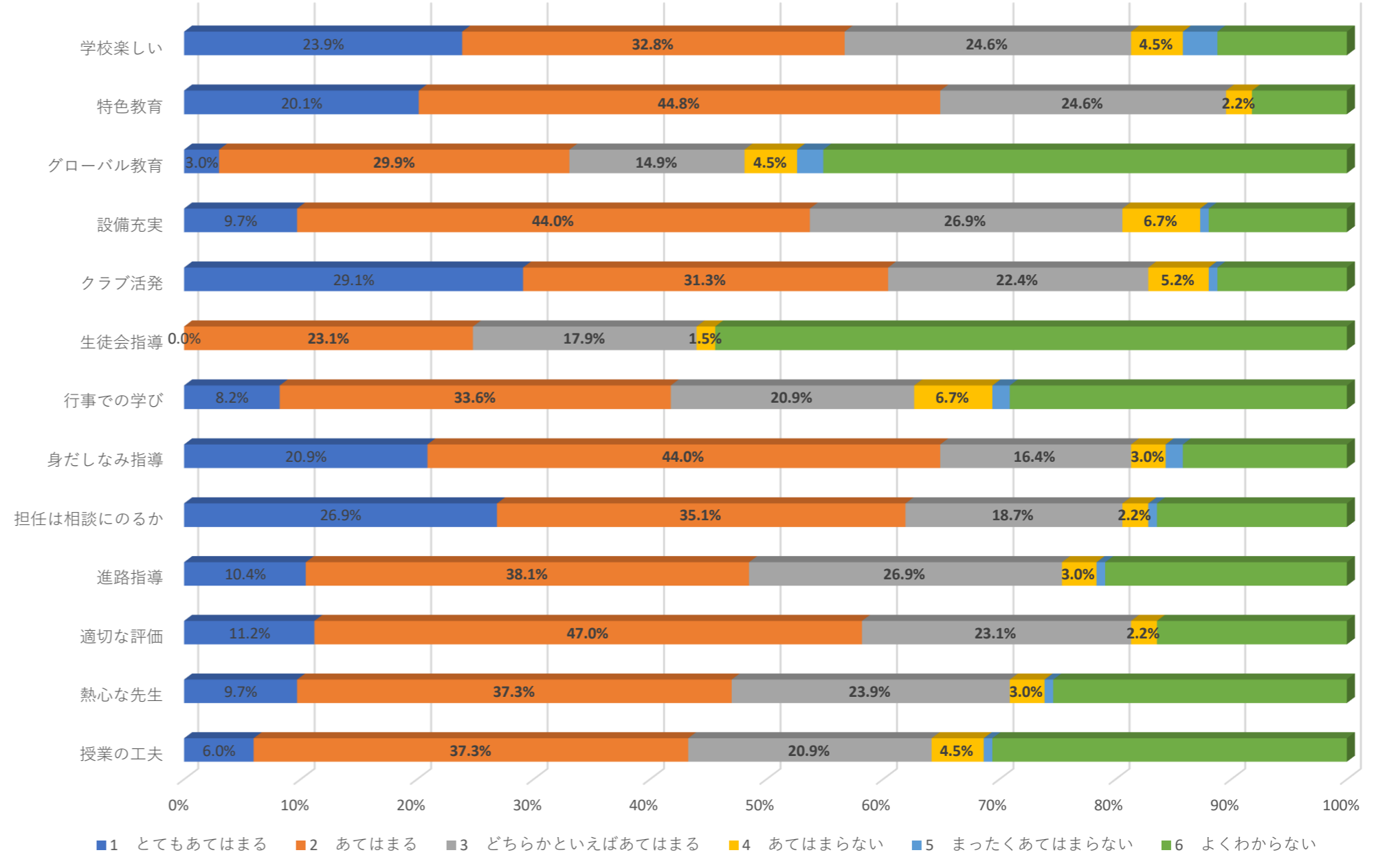
教育活動に関するアンケート 高等学校 保護者



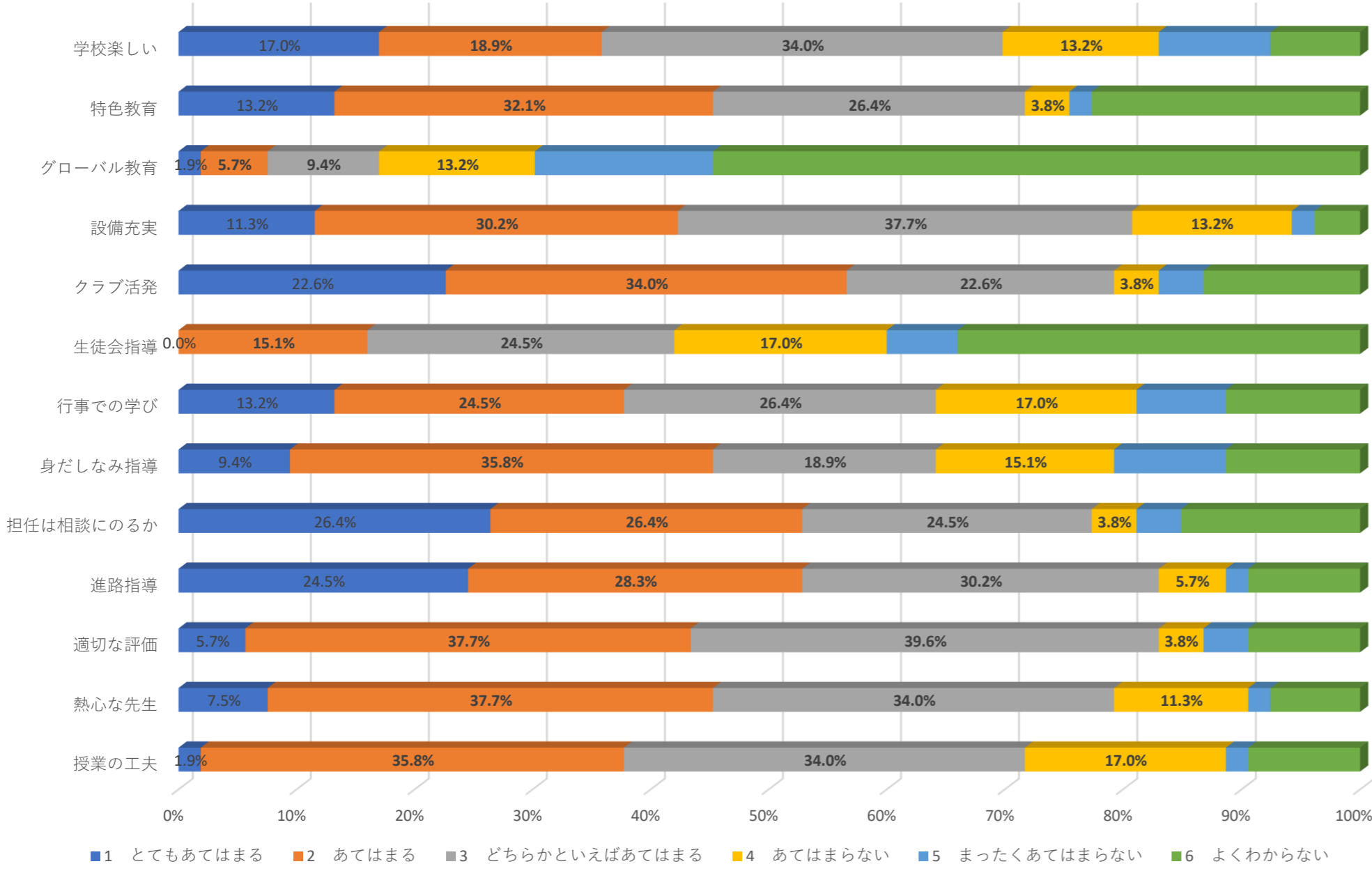
教育活動に関するアンケート 高等学校1年生 生徒



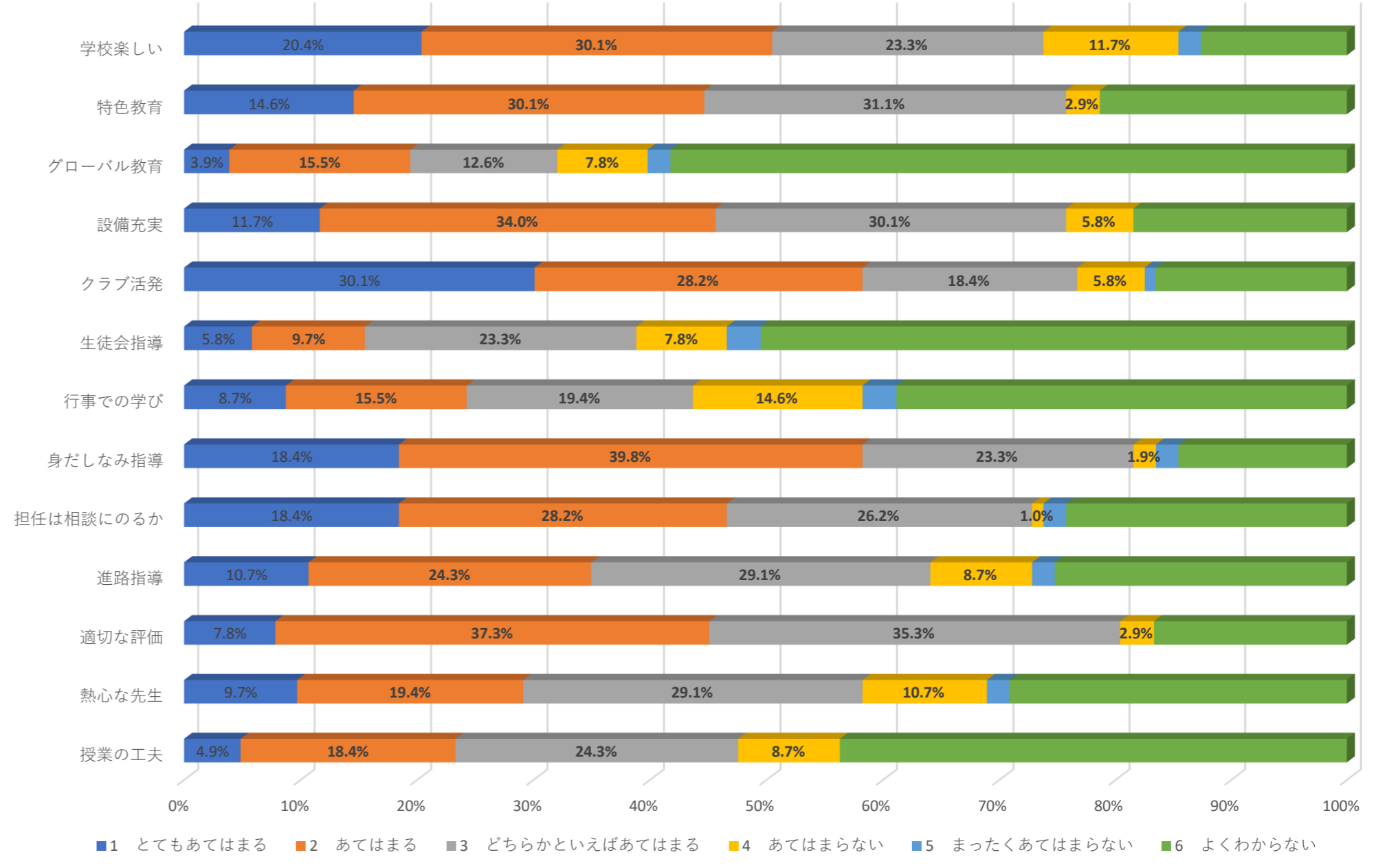
教育活動に関するアンケート 高等学校1年生 保護者



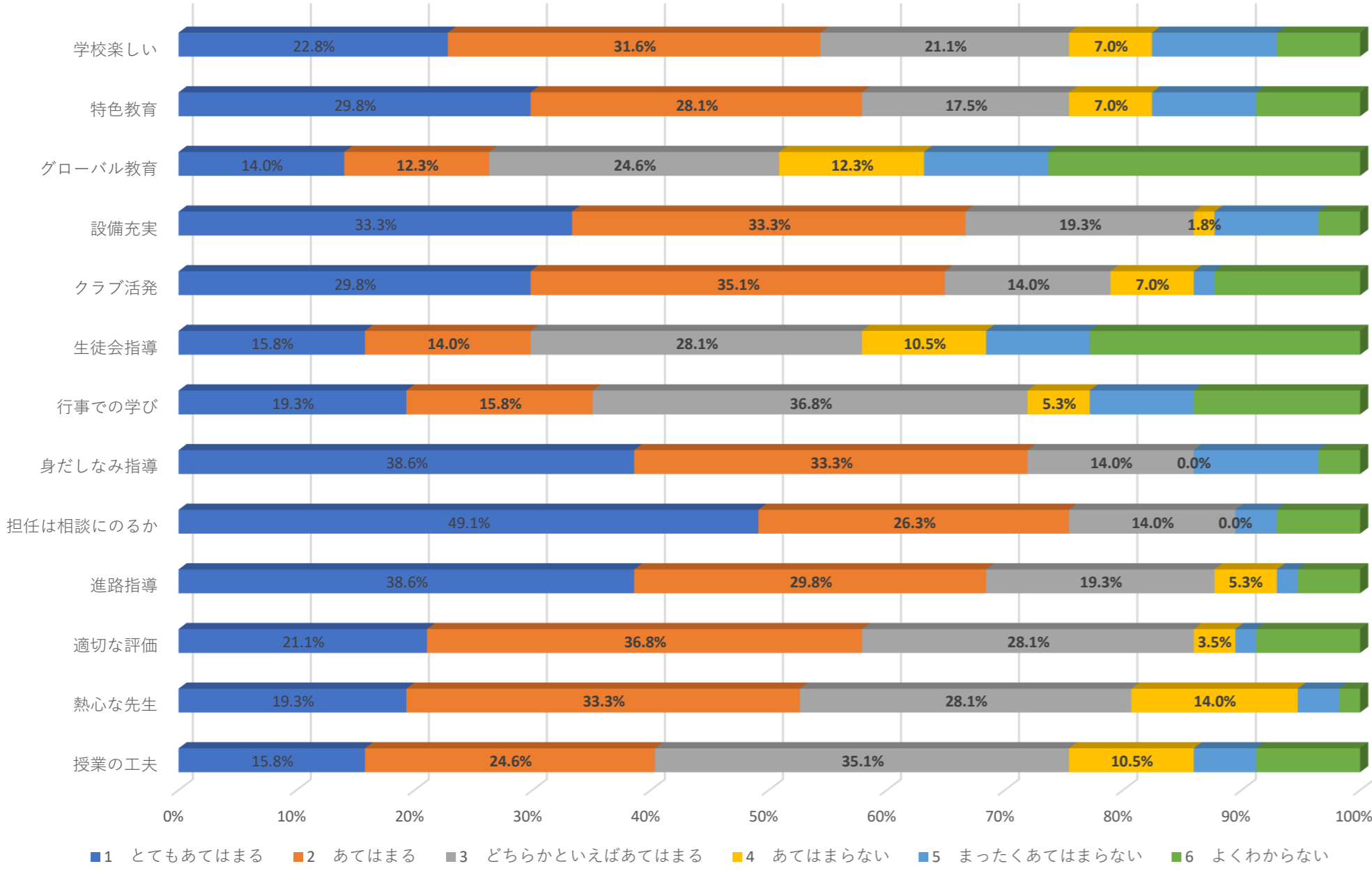
教育活動に関するアンケート 高等学校2年生 生徒



教育活動に関するアンケート 高等学校2年生 保護者



教育活動に関するアンケート 高等学校3年生 生徒



教育活動に関するアンケート 高等学校3年生 保護者

